

発 行

福井県大野市天神町1番1号
大 野 市 役 所
電 話 (代) 6-1111
郵 便 番 号 9 1 2

印刷 松浦印刷所



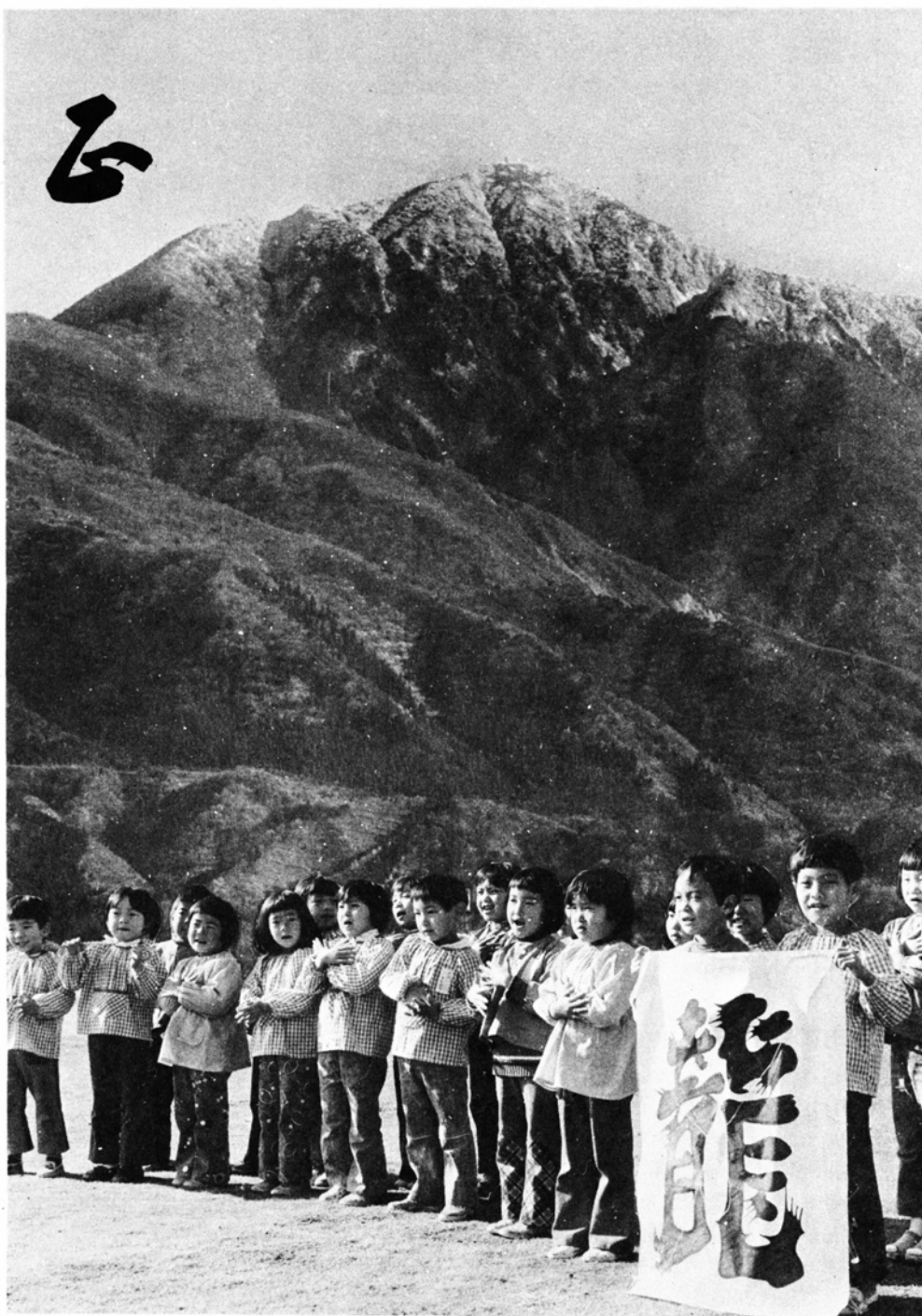
11月の人口の動き

出生	男 1	女 18	計 29
死亡	20	17	37
転入	41	29	65
転出	36	42	83
世帯数	10,285 (前月±0)		
人 口	42,666 (前月-26)		
男	20,560	女	22,106

笑 正

リンゴの
ホッペが笑う
夢が
空に舞う

大きな
母の
まなざしがある



産業基盤の確立に努力



大野市長 寺島 利鏡

明けましておめでとうございます。

昭和51年の新しい年を皆さんとともに迎えることが出来たことは喜びにたえません。

昨年は深刻な不況の中で明け暮れた年でありましたが、市政におきましては苦しい財政事情にありながらも、開成中学校の完成、市営バスの開通、不況対策など新しい都市づくりを目指

して積極的な対策を講じてまいりました。

しかし、本年は財政事情が一段と落ち込み、市発足以来最も厳しい緊縮予算を組まざるを得ないものと憂慮しております。

従って、高度成長時代における振興計画の見直しを行い

住民福祉に密着したまちづくりを重点的に推進していかなければならないと存じます。

そのためには、環境衛生施設や道路整備など生活基盤を整え、ほ場整備事業の促進、繊維不況対策の充実など、産業基盤の確立を図る一方、行政経費の節減合理化を徹底し、限られた財政力の効率的運用をモットーとして進めたいと思います。今後とも、市政に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、新年のごあいさついたします。

雪の対策

いよいよ降雪期を迎えました。井戸枯れを防ぐため今冬は道路も屋根も融雪用には極力地下水を使わないようにしな

水路しゅんせつ、水門改良して

市街地に二トンの水流す

ればならない状況にありますので、それに替わる融雪方法と地下水かんよう対策として、市は市街地の防火用水に昨年冬



4号用水のしゅんせつ工事

の約2倍の水を流すよう努力しています。市街地東部の各水路の源である4号用水は、下掘で清滝川から取水しマックス株式会社横へ出て、国道157号線沿いに春日3丁目へ入っています。

この用水路に1,010万円をかけて、水の通りの悪い部分827㍍を深さ1㍍、幅1.5㍍にしゅんせつするとともに、下掘にある水門2基、角落し2カ所を改良して流水をよくしました。さらに清滝川の取水施設も改良して、今まで1㍍の流量を2㍍にします。

また、3号用水も春日通りの水量を多くするため、春日3丁目地係の520㍍を83万円でしゅんせつしました。

12月定例市議会

一般会計2億2,900万円を追加

職員給与、農林業費重点に

第157回定例市議会は12月13日から19日まで開かれ、「一般会計補正予算」「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」など9議案を審議し、昭和49年度大野市歳入歳出決算認定の議案については、決算審査特別委員会を設けて継続審査になった外は、原案どおり可決されました。

市の施設に量水計設置

一般会計は歳入、歳出にそれぞれ2億2,914万3,000円を追加して、予算総額は43億2,037万6,000円になりました。

歳出の主なものは①人事院勧告に基づく一般職員の給与改訂に9,792万円②高能率稲作協業団地育成事業や各種振興対策事業の補助金決定による農林業振興関係費に7,498万円③ことし夏の豪雨による農地、公共林災害復旧事業費に1,849

万円④市施設の量水計の設置や水路しゅんせつ工事、観測井の設置などの地下水保全対策に1,228万円⑤ゴミ処理施設建設に要する経費に1,200万円—などです

財政は42年再建以上の厳しさ

開会日の予算の概況説明で市長は、今後の財政見通しについて「昭和51年度は市税の増収が期待出来なく、その上西谷村合併による交付税の優遇措置8,000万円が打ち切りになります。一方、支出ではほ場整備事業補助金や県営事業負担金公共用地取得関係費などの義務的経費の増加、それにゴミ処理施設の建設をしなければなりませんので、来年度は昭和42年の財政再建当初以上の厳しい状況にあります」と述べ、市民の協力を強く要請しました。



統合中学校 建設が完了

昭和50年もみなさんのご協力により、市政を発展させることが出来ました。

主な出来事をもう一度振り返ってみましょう。

〔1月〕 10日～31日市街地を中心に井戸枯れ 775戸。14日阪谷橋架け替工事に着工。

〔2月〕 16日市議会議員選挙(投票率90.39%)

〔4月〕 1日主要地方道大野墨保線が国道 157号線に昇格。13日知事、県議会議員選挙(投票率87.67%)

〔5月〕 30日開成中学校2期工事完了

〔7月〕 24日広域基幹林道法恩寺線大野地係の工事に着工。

〔8月〕 1日～16日城まつり、人出は最高10万人。16日旧西谷村10周年記念式典。30日中国大使館肖向前参事官一行来野。

〔9月〕 1日市史編さん委員会発足。

〔10月〕 28～29日第87回北信越市長会20日富田酪農団地完成。29日市農協カントリーエレベーター完成。31日市廃棄物処理場建設地決定。

〔11月〕 1日市営バス白山線運行開始1日国鉄バス市内線運行開始。1日～3

厳しい 試練 克服 しよう



大野市議会議長 斉藤 秀雄

新年明けましておめでとうございます。

1976年の輝かしい新春を迎え、皆さま方のご健康を心からお祝い申し上げますとともに、平素の市政発展のためのご協力に対し、深く感謝申し上げます。

さて、一昨年以来の石油危機によって、わが国経済構造の転換は物価抑制から景気回復へと移りつつありますが、従来の高度成長か

ら安定成長への体質変化にもかかわらず、長期かつ深刻な不況とインフレにより地方財政はもとより、国家財政は危機に直面しております。

その中であって、市も市民福祉向上のため、学校建設、農業基盤整備、道路整備、地下水保全対策など積極的に諸

施策を推進してまいりました。

本年は市議会といたしましても、過去の基盤の上に立って厳しい試練を乗り越え、今まで同様住みよいまちづくりのために、市民各位と一体になって終始公正に諸問題を慎重に審議し、4万2,000市民の期待にこたえるよう、全力を傾注する決意を新たにします。

どうか市政に対する皆さんのなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いしまして、新年のごあいさつといたします。



市営バス白山線、国鉄バス市内線の発車式(11月1日、大野三番駅前)

日第9回大野市総合文化祭。8日～9日第7回大野市農業祭。30日佐間、上黒谷ほ場整備事業完成。

〔12月〕 4日開成中学校完成(中学校の統廃合による建設計画完了)11日地下水保全要綱制定。

市議会議員選挙
の開票(二月十六日)



中挟中野大橋線通れます 駅東線も舗装完成

北部土地地区画整理事業地域の幹線道路である駅東線の舗装工事は完了し、中挟中野大橋線の工事も一部分を残して、ほとんどが完成しました。

事業区域の北の境界までの506mに、両側に1.5mの歩道と、中央に9mの車道を設けました。

中挟中野大橋線は工費5,070万円で、

駅東線は工費1,975万円で、県道南六呂師大野線の交点から北部土地地区画整理

国道157号線の北陸電力大野電力所前から旧京福三番駅橋までの793.5mに、3.5mの歩道を両側につくり、10m間隔にアカシアの若木を植えています。また中央には9mの車道を設けています。

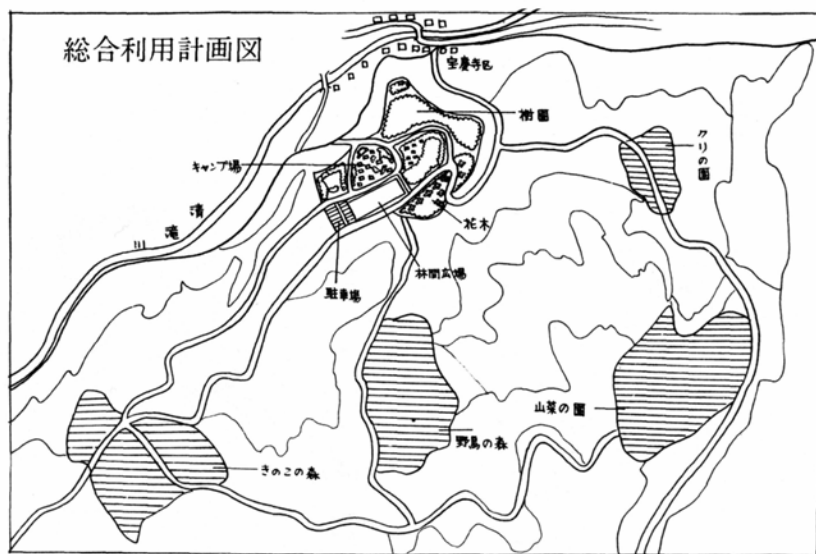
旧京福電鉄軌道敷地と中荒井1丁目地係の約100mは工事中ですが、通行は自由に出来ます。

(4)

第2次林構

夢多計画

総合利用計画図



宝慶寺に楽しいエリアづくり

市は昭和51～54年の4か年計画で、第2次林業構造改善事業を計画しています。この事業は林産物の生産機能と時代的な要請である自然レクリエーション、休養機能を両立させたエリアづくりを宝慶寺地係でします。この外、林業の経営基盤を充実する事業、資本装備を高度化する事業、協業化を進める事業があり、大野市総面積の84.6%を占める4万5,816ヘクタールの大きな山林原野を、総合的にかつ積極的に生かしていきます。

キャンプ場や 野鳥の森建設

森林総合利用促進事業

「山を緑に」という国民の願いが年々強くなるのに比例して、自然に安息を求める人々が多くなっています。

森林総合利用促進事業、はこれらの社会的要請にこたえつつ、林業を振興させようとする「第2次林業構造改善事業」の目玉事業です。

市は林業コンサルタントの診断結果を基にして、宝慶寺地域に林産物生産とレクリエーションの総合エリアづくりの計画を進めることになりました。

この地域には名高い宝慶寺や国の重要文化財の橋本家、アマゴ養殖場など観

重文橋本家の防災工事完成

総工費は800万円

昭和49年度から進めていました国の重要文化財橋本家の防災工事が、この程完成しました。

昭和49年度は火災自動警報装置一式と避雷針1基を200万円で設置しました。

今年度は50%の貯水そうを宝慶寺の山中に造り、導水管を約400m引くとともに、自由自在に方向が変えられる最新式の放水銃付き消火栓を橋本家の屋内に1基、屋外に2基600万円で建設しました。また宝慶寺も屋内・外に1基ずつ建

設しましたので、12月11日には、両方の施設の放水試験を兼ねた防火訓練が宝慶寺、市の関係者と区民によって行われました。

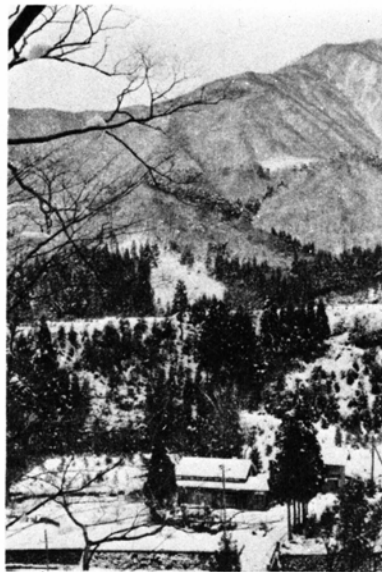
訓練は午後2時に橋本家周辺の枯れ草が焼えているとの想定で始められ、板木が激しく鳴りますと雲水さんがすばやく所定の位置につき放水を始めました。

貯水そうと消火栓との落差が約50mあるので、水は高さ40～45mにも達し、「これなら早期消火は間違いなし」と関係者を満足させました。



放水訓練をする宝慶寺の雲水さん

林業の生産とレク機能生かす



森林総合利用促進事業
が計画されている地域

光資源も豊か
であり、さらに
自然保護と市民
の健康増進に役

立たせる目的で購入した市有地3万3,000平方メートルがあります。

これらの好条件を生かして、総面積約130ヘクタールの山林に林道を設け、駐車場 総合案内施設 休憩施設、キャンプ場、便所、給水場、それにキャンプファイアーやいろいろな野外運動が出来る林間広場、散策が楽しめる林間歩道の建設などを計画しています。

また、鳥獣保護も併せて考え巣箱を取り付け、実がなる花木を植えて野鳥の森を造るとともに、クリの園、山菜の園、きのこの森など四季をとおして自然が満喫出来る夢多い地域になります
第2次林業構造改善事業の総事業費は3億6,000万円で、国の補助50%、県・市費と森林所有者負担で実施していくことになっています。

しかし、国・県・市ともに財政状況が極度に悪化していますので、実施の段階になりますと、事業年度の延長、また一部変更があるかも知れません。

して正月によく演じられました。

「世帯持つなら七間の 亀屋の様な家建て、鍋屋の様な金持で……」と当時の大野の風俗と町名を織り込み、美しい文句でつづられています。現在

は武生市越前万歳保存会のレパートリーの中に組み込まれていますが、元来は下舌の安川開仏という江戸時代の学者の作です

万歳は封建時代の町民文化を研究する上で欠かせない資料であり、文化財としての価値が極めて高いといわれています。



③2町名を伝える万歳 大野町づくし

きて
「扱も目出度大野側 殊に首尾能四万石 四海波風 静にて 城は山城 登り亀 身体そろそろ 登り口 寿命はつきぬ御万歳……」とうたい出されるのは、越前万歳の「大野町づくし」です。

大正初期までは、おめでたいものと

—4年計画—

林道づくりや 協業化の推進

生産力が低く、機械化も遅れている林業を振興させるため、昭和39年林業基本法が制定され、第1次林業構造改善事業が始まりました。

この事業では、林道の開設と生産基盤の整備や労働生産性の向上を目指した機械、施設の導入が主でした。

しかしながら、木材の需要増による外材の急激な輸入増加、木材流通、消費構造の変化、林業労働力の流出、さらに森林レクリエーションの要求の増加など、林業を取り巻く諸情勢の変化が起こってきたため、国は昭和47年に第2次林業構造改善事業を発足させ、林業総生産の増大や協業化の推進、レクリエーション的利用を含む森林の総合的利用を推進することになりました。

昭和46年から林構実施

大野市は昭和46～48年の3か年間で、第1次林業構造改善事業を1億6,000万円で実施し、寺月、志目木谷など5本の林道の建設、また秋生に造林用宿泊施設の建設等、林業振興の基盤づくりを進めてきました。

昭和50年度はこの基盤に立って第2次

スマイル

「初詣で」

来年の正月まで達者でナ

神 様

参拝者殿

林業構造改善事業の計画をつくり、昭和51年度から4か年計画で①入会山の近代化や分収造林等を進める「経営基盤の充実事業」、②機械の導入や造林施設等の設置を推進する「資本装備の高度化事業」、③協業生産基盤の林道開設や協業活動体制の強化等の「協業の推進事業」、④林産物の生産機能とレクリエーション、機能を両立させる「森林総合利用促進事業」を実施していくことになりました。



大野には郷土色豊かな文化があり、民情があり、習慣があります。その中に息づく私たちには季節のセレモニーがあります。新春へのまちの表情を拾いましたので紹介しましょう

宝慶寺の彫刻

「毎夜池の水を飲んだ」という竜

ことは辰年です。深えんに住み、自由に天上を駆け巡ると言われる竜は、人間のあらゆる物事も見通し、祥瑞（しょうずい）の神として昔からあがめられています。

宝慶寺には雲に乗って昇天する2頭の竜の大きな彫刻があります。

が精魂こめて作ったものといわれ、時代は明らかではありませんが、かなり古いものです。

今昔を問わず、参拝する者はいまにも動き出しそうな神秘的な出来栄に、圧倒されてきました。宝慶寺区の伊藤稔さん（65歳）は「昔、この竜が夜な夜な義雲杉

これは道元禅師が中国での修業を終えて帰国されたときに宋から一緒について来た伽藍（がらん）師玄源左衛門の子孫

横の池で水を飲んだり、雲水さんを食べたりしました

そのため、目にくぎを打ち彫刻に着色をしたら、その後あばれなくなったという伝説があり、これは生き生きした竜のすばらしさを示す何よりの証拠でしょう」と語っています。あなたもぜひ拝観を……。

宝慶寺開山堂の
竜の彫刻

新春のまちに拾う

「郷土料理で楽しいお正月を」と上庄ふるさと料理研究会は12月16日上庄公民館でおせち料理講習会を開きました。「こ

うじづけのサバずし」「里芋のでんがく」「カブの酢の物」「芋ぞうに」など地元の野菜を生かした伝統料理のうち、現今になって比較的珍重がられるものが、各会員から披露されました。

中でも「芋ぞうに」は「ことし1年健康でころころとこまめに働けますようにとの願いがこめられた料理」との説明で注目を浴びました。

3年前上庄ふるさと料理研究会が発足して以来、昔の食生活の研究とこれを実際生活に生かす活動を進めてきました。

上庄ふるさと料理研究会

ことは大豆を素材に

上据の森永志づきさんは「昔の良さを生活に生かすのはもちろんですが、料理をとおして若い者と年寄りとの精神的なつながりを深めることに大きな意義があると思います」と語っていました。

また、会長の杉川典子さんは「昭和50年はジャガイモを主にしたふるさと料理を研究してきましたが、昭和51年は大豆をテーマに考える年にしたいです。おふくろの味を家庭に、をモットーにして、主婦の輪を広めていきます」と話していました。



郷土のおけち料理を作る上庄ふるさと料理研究会員

息づく郷土の文化



百人一首の練習に励む開成中学生

取れるようになることと、礼儀の正しさを身につけることをモットーにしていますが、ときには昔の人の恋心や生活の模様など歌の意味も紹介しています」と指導に当たっている河合清子先生は話していました。

1月には市民カルタ大会、また2月には県下中学生

カルタ大会があります。

部長の野村桂子さん(3年生)は「県下の大会では、三国町はいつも強く、私たちのレベルの低さを痛感しています。

ことは少しでも距離を縮めるよう、大いにがんばります」と張り切っていました。

開成中カルタクラブ

県下のレベルに達したい

「高砂や尾上の桜……」「はい」返事と同時に「ピシッ」とカルタを取る音が響き、室内は若い熱気に満ちていました

した。

「クラブでは歌を覚え、カルタを早く

神聖な年中行事に喜び

しめなわ作り

「しめなわ作りを始めてからもう45〜6年になります。動機はとうじ先の豊橋市の朝市にずらりと並んだしめなわに感動し

ましてね……。自分も作れないものかと

買って帰り、何回もほども作り方を研究しました。そして余暇に酒米の俵で作ったのが始まりです」と松田清さん(70歳、新庄)は慣れた手さばきで玄関用の大きなしめなわを作りながら語っていました。

昔は中野町、中津川、鯉掛にかなりしめなわ作りをする人がいましたが、現在はごく少数になってしまいました。



玄関用の大きなしめなわを作る松田清さん

松田さんが作るしめなわは玄関、神だな、台所、自動車、店用など17種類で、一番大きいのは長さが約4m50cm、太さ10cmもあります。「材料のワラは稲を早刈りして毎年自分で用意していますが、ウラジロ、ホンダワラ、ユズリハは大野で得られないので敦賀まで取りに行きます。

このように、毎年年中行事として神聖なしめなわ作りに精出せるのを喜びとしています」と松田さんは1筋1筋に力をこめて、より上げていました。

これは開成中学校「百人一首クラブ」の活動で、毎週水曜日の放課後には男女24人の生徒が練習に励んでいます。

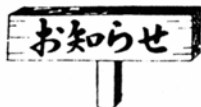
クラブを結成してから5年目、当初は女性ばかりでしたが、ことは男性も多く入会し、一段と活気を増し、毎回全員が出席する熱心さです。

つぶらなひとみを輝かせてカルタを追っていた小林隆子さん(1年生)に入会の動機を尋ねますと、「小学校からやっていましたので、中学校でも続けてもっと上手になりたいからです」とのこと、また林圭子さん(2年生)は「カルタが好きなのでクラブで思う存分楽しめたいと思って入りました」と明るく笑っています

今月の納税

市・県民税 4 期 分

31日までに納めて下さい



◆母子家庭児童に入学支度金

母子家庭の児童が小学校または中学校に入学するとき、死別世帯に1万円、生別世帯に5,000円の支度金が支給されます。該当される方は1月16日(金)から31日(土)までに市福祉事務所で申請手続きをして下さい。その際印鑑が必要です。ただし、市民税の所得割を課せられている家庭は除かれます。

◆ゴミ収集は週1回に

市街地のゴミ収集は、1月6日から3月31日まで週1回になります。

収集曜日は12月に回覧でお知らせしたとおりですから、ご協力願います。

なお、ゴミは必ず燃えるものと燃えないものを別袋にして、収集日の朝ステーションへ出すようにして下さい。

◆スキー指導者講習会10・11日

スキー指導者講習会が1月10日(土)午前9時から11日(日)午後3時30分まで六呂師スキー場で開かれます。受講は無料ですが、宿泊料1,200円必要です。

希望者は1月8日(木)までに市体育課(6-1111内線406)へ申し込んで下さい。

◆インフルエンザ予防を

インフルエンザの本格的な流行期です。次のことを励行して健康な日々を送りましょう。

1. 外出から帰ったら、ウガイをする。
2. 偏食せず、バランスの取れた食事をして栄養を十分取る。
3. 夜ふかしなど体力の消耗を避ける。
4. 気温の変化に注意し、体温の調整に気をつける。
5. 汗の後始末をよくする。
6. 湯ざめをしないようにする。
7. 乾布摩擦で皮膚を鍛える。

◆年賀ハガキコンクール作品募集

大野公民館は、年賀ハガキのデザインコンクールを行います。美しい心温まる年賀状をお寄せ下さい。

〈募集作品〉昭和51年の年賀ハガキ、自作または受け取ったもの。印刷所が印刷したものやプロ作品は除きます。

〈締め切り〉1月16日(金)まで

〈提出先〉大野公民館(明倫町3-28)

◆雪が降ったら電線にご注意

降雪期には電線切断による事故が多くなります。①切れた電線には絶対触れない②屋根の除雪のとき、雪が電線に触れないように投げ下ろす。③木の枝の雪が電線に触れていないか——

など注意願います。もし、危険な個所を発見されましたらすぐに北陸電力大野営業所(6-4477)へご連絡下さい。



◆源泉還付申告書提出は1月中旬に

大野税務署では、2・3月は所得税確

成人式は15日

新成人おめでとうございます。該当者は昭和30年4月2日から昭和31年4月1日までに生まれた男294人、女290人計584人です。

式は次のとおり行いますので、ご出席下さい。

日 時 1月15日(水) 午前8時30分から

場 所 大野市民会館

日 程

8:30~10:00受付、10:00~11:00式典
11:00~12:15記念行事(折りツルと話し合い)、12:15~13:45昼食、交歓
会記念撮影、13:45~15:30お好みコーナ(のど自慢、市長と語る会、ダンス、喫茶、グループ紹介など)

定申告の時期で混雑するため、源泉還付申告書の提出は1月中旬に、納税証明の請求は2月中旬までにしよう、望んでいます。なお、前年還付を受けられた方へは、1月中旬までに確定申告書用紙をお送りします。

◆雪下ろし、ガスボンベに気をつけて

軒下にあるプロパンガスのボンベに、下ろした屋根雪が当たってガス管がはずれ思わぬ事故が起こります。

ボンベには囲いをするともに、屋根雪下ろしをするときは、十分注意して下さい。

◆献血に協力下さい

献血を1月20日(火)午前10時から午後3時まで、奥越合同庁舎前で行いますのでご協力下さい。

ことしのエトは辰(竜)のことである。モノの本によると竜はツノキバを持ち、巨眼、ヒゲをはやし、鋭いツメのついた四つ足がある。全身ウロコにおおわれ、地中・深えん・天上を自由に行動できるという怪物。昔から中国では麒麟・鳳凰・亀と共に四霊の一つに数えられ、瑞兆とされてきた。この中国の竜神信仰は日本にももたらされて、祥瑞のしるしとされ、海神・水神として神聖視された。東南アジアでは川の神を祭るのに竜頭の舟を浮かべるという。しかし、このスーパー竜くんは笹の葉と五色の糸がきらいというから面白い。楚の時代の詩人屈原が汨羅の水に身を投じて以来、人々は竹筒に米を入れて彼の霊を慰めた。ところが屈原の亡霊が「竜が米を全部食べてしまうので、これからは笹の葉でふたをして五色の糸で巻いておく」と人々に告げた。以後、笹の葉に米を入れ、五色の糸でしばりチマキを作ったと言われる。ちなみに、この五色の糸が、端午の節句の吹き流しとなっているという。さて、この竜は東洋では神と祭られ祥瑞とされているが、西洋の説話ではドラゴンと呼ばれ、新約聖書では罪惡の根源として扱われている。そして、これをこらしめることを、騎士として最も華々しい業績とされていた。民族、歴史が違っても見方が異なるものか。▼当市にも宝慶寺にある竜の彫刻にまつわる伝説がある。あまり悪口を言ってしまうと、これには困る。何はさておき、ことしこそは昇竜にあやかり、景気上昇リユウリユウたる市の発展を望んでやまない。



ことしのエトは辰(竜)のことである。モノの本によると竜はツノキバを持ち、巨眼、ヒゲをはやし、鋭いツメのついた四つ足がある。全身ウロコにおおわれ、地中・深えん・天上を自由に行動できるという怪物。昔から中国では麒麟・鳳凰・亀と共に四霊の一つに数えられ、瑞兆とされてきた。この中国の竜神信仰は日本にももたらされて、祥瑞のしるしとされ、海神・水神として神聖視された。東南アジアでは川の神を祭るのに竜頭の舟を浮かべるという。しかし、このスーパー竜くんは笹の葉と五色の糸がきらいというから面白い。楚の時代の詩人屈原が汨羅の水に身を投じて以来、人々は竹筒に米を入れて彼の霊を慰めた。ところが屈原の亡霊が「竜が米を全部食べてしまうので、これからは笹の葉でふたをして五色の糸で巻いておく」と人々に告げた。以後、笹の葉に米を入れ、五色の糸でしばりチマキを作ったと言われる。ちなみに、この五色の糸が、端午の節句の吹き流しとなっているという。さて、この竜は東洋では神と祭られ祥瑞とされているが、西洋の説話ではドラゴンと呼ばれ、新約聖書では罪惡の根源として扱われている。そして、これをこらしめることを、騎士として最も華々しい業績とされていた。民族、歴史が違っても見方が異なるものか。▼当市にも宝慶寺にある竜の彫刻にまつわる伝説がある。あまり悪口を言ってしまうと、これには困る。何はさておき、ことしこそは昇竜にあやかり、景気上昇リユウリユウたる市の発展を望んでやまない。